

28日 水曜

使徒

4:23 さて、釈放された二人は仲間のところに行き、祭司長たちや長老たちが彼らに言ったことを残らず報告した。

4:24 これを聞いた人々は心を一つにして、神に向かって声をあげた。「主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。

4:25 あなたは聖霊によって、あなたのしもべであり私たちの父であるダビデの口を通して、こう言われました。『なぜ、異邦人たちは騒ぎ立ち、もろもろの国民はむなしいことを企むのか。

4:26 地の王たちは立ち構え、君主たちは相ともに集まるのか、主と、主に油注がれた者に対して。』

4:27 事実、ヘロデとポンティオ・ピラトは、異邦人たちやイスラエルの民とともに、あなたが油を注がれた、あなたの聖なるしもべイエスに逆らってこの都に集まり、

4:28 あなたの御手とご計画によって、起こるように前もって定められていたことすべてを行いました。

4:29 主よ。今、彼らの脅かしをご覧になって、しもべたちにあなたのみことばを大胆に語らせてください。

4:30 また、御手を伸ばし、あなたの聖なるしもべイエスの名によって、癒やしとすると不思議を行わせてください。」

4:31 彼らが祈り終えると、集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語り出した。

4:32 さて、信じた大勢の人々は心と意思を一つにして、だれ一人自分が所有しているもの



を自分のものと言わず、すべてを共有していた。

4:33 使徒たちは、主イエスの復活を大きな力をもって証しし、大きな恵みが彼ら全員の上にあった。

4:34 彼らの中には、一人も乏しい者がいなかった。地所や家を所有している者はみな、それを売り、その代金を持って来て、

4:35 使徒たちの足もとに置いた。その金が、必要に応じてそれぞれに分け与えられたのであった。

4:36 キプロス生まれのレビ人で、使徒たちにバルナバ（訳すと、慰めの子）と呼ばれていたヨセフも、

4:37 所有していた畑を売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

教会に困難が起きたときの対処法がここにあります。ペテロとヨハネは自分たちが受けた困難についてみなに報告しました。その内容は自分たちの苦勞話よりも、みなのために「祭司長や長老たちが」言ったことが中心でした。

それは「みんなで苦勞を共にしよう」というような愛と一致の雰囲気があったからでしょう。神の視点に欠ける群れは、問題が起きると誰かの責任にしたり、批判が生まれますが、教会はむしろ一致するようでありたいものです。

この時教会は心を一つにしましたが、それは感情的なものというよりも、神様への信仰による一致でした。25節には神の偉大なることへの信仰、さらに聖書理解、そして聖書から出来事を（27節）見る神の視点の一致です。

さらに「みことばを大胆に語らせてください」「わざを行わせてください」という献身と前進の一致です。ですから32節から33節のような麗しい共同体ができたのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

